

## 九州まちづくり提案

### ○野鳥の鳴き声が絶えないまちづくり

少し前まで庭や屋根の上で鳴くスズメやメジロのほか、スイスイと道路を行き来するツバメ、小高い森や公園の自然林からウグイスやコジュケイの鳴き声が絶えなかったのではないかと。近頃はヒヨドリやカラスが勢力を伸ばして小さな野鳥の鳴き声が減っている。瓦や家屋の隙間が少なくなり、子育ての巣を作りにくくなっている住宅事情もあるだろう。それでいいのだろうか、よくあるはずはない。どうすればよいでしょう。巣が作れる比較的大きな木を増やせばよいがすぐには実現が難しい。そこでできるのは小さな野鳥が好む実をつける木を植えることである。クワが一番良い。グミやバライチゴなどもよい。コガネモチもあるがヒヨドリを呼んでしまう。加えて巣箱の提供である。町内会や自治会で子供を参加させ何年か置きに実施する。作り方も町内会や自治会主導で行う。お年寄りの出番になり世代間交流の良い機会になる。材料は希望者の持ち寄りがよい。子どものいる家庭であれば伝統技術伝授の良い機会になる。